

入学式式辞(31.4.9)

春の風が学校に花の匂いや鳥のさえずりを運んでくれる今日の良き日にこのように多くの保護者の皆様のご出席のもと、平成三十一年度松江農林高等学校の入学式をかくも盛大に挙行できますことは、私ども教職員一同、大きな喜びとするところであります。

また、ご多用中の所、鳥根県教育委員会から 村上 かおる 様、松農会会長 浅野 俊雄 様、PTA会長 野々村 卓也 様をはじめとするご来賓の皆様方にご臨席を賜りましたことに、高いところからではございますが、深く感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可しました160名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。松江農林高校の在校生、教職員一同は、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

今年度、元号も「平成」から「令和」と新しくなります。本校にとりましても120回目の新入生を迎える記念すべきメモリアルな年度となりました。本校は、伝統と歴史を誇り、鳥根の教育を牽引すべきリーディングスクールであります。その一員となる新入生のみなさんには、自信と誇りを持って、日々生活をしていただきたいと思っております。

本校は、「質実剛健・自主創造・奉仕共同」を校訓とし、飾り気のない逞しい心身とともに主体的にモノを作り上げる能力や、他人と力を合わせて社会貢献を行うことができる人材の育成を教育目標としております。

少子高齢化、国際化、環境問題、そして地方創生など様々な課題を抱え、刻々と変わる社会情勢の中、変わらず大切なものは、本物に触れ、体験を経験に変え、人に対する思いやりを醸成していくことであろうと考えます。本校では、常に自然やもの・ことに真摯に向き合い、豊かな心の育成に努めております。

今、新入生のみなさんは、夢と希望を胸に、初めての高校生活に大いに期待をされていることでしょう。そんな皆さんに私から2つお願いをさせていただきます。

「May I Help You To Carry these Boxes?」皆さんが受験をされた高校入試英語問題の本校生徒の正解例です。重そうな箱を運んでいる人に何と声をかけますかというイラストの問題でした。

この問題に答えるためには、2つの力が重要だと思います。「言葉の力」と「思いやり」です。是非ともこの学校でこの2つの力を更に高めて欲しいと願っています。

「言葉の力」を高めるためには、「読む力」―「情報を編集する力」―「まとめる力」「書く力」を総合的に身につける必要があります。「読む」ことは本校の朝読書に真剣に向き合うこと。「情報を編集する力」は、先ず人の話を相手の立場に立って聞くこと。「まとめる力」「書く力」は、毎日の授業の振り返りを大切にすること。この3つを意識して言葉の力を高めてください。

そして、「思いやり」は、平和な世の中を創造していく上で、私も含めてみなさんが身につけていかなければならない心根です。私は、重い荷物を持って運んでおられる人を見たら、「手伝いましょうか」と日本語であろうが、英語であろうが自然と言葉にできる行動がいたらと

ころで見られる学校にしたいと考えています。中国の哲学者孔子の語録で人生最高の教科書といわれる論語において人が一生実践していくべき一つの行動は「思いやり」である、自分がして欲しくないことは他人に対してしてはいけないということです。つまり自分がして欲しいことを相手にしてあげてください。

新入生の保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。本日のお子様のお姿に感慨いかばかりかと拝察いたします。高校生活はお子様ご自身が責任ある大人として自立していく重要な過程の真只中にあり、心身ともに様々なことに遭遇する時期です。常に温かく、時に厳しく見守っていただきますようお願いいたします。本校職員もお子様ご自身の成長と自立に向けて全力を尽くす覚悟です。今後とも本校の教育活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜りますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

最後になりましたが、新入生の皆さんが三年間の高校生活で「思いやり」の心を寄せ合い、お互いが支え合い、高め合う学校文化が醸成され、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができるよう心から祈念し、式拜いたします。

平成三十一年四月九日

島根県立松江農林高等学校長 吉岡 正弘